

『令和5年度 市議会議員と話そう』アンケート結果

【袋井高等学校 参加生徒16人】

1 学年 1年 8人(50.0%) 2年 8人(50.0%) 3年

2 住所地 袋井市内 9人(56.3%) 袋井市外 7人(43.7%)

(磐田市 3人 掛川市 1人 菊川市 2人
森町 1人)

3 『市議会議員と話そう』全体時間の長さはどうでしたか。

長い ちょうどいい 6人(37.5%) 短い 10人(62.5%)

考察	10人(62.5%)が「短い」と回答した。「ちょうどいい」と感じる生徒も6人(37.5%)いることから、有意義な時間を過ごせたと感じていただけたものと思われる。今回は、全体の時間やステップ数などの検討が必要と思われる。
----	---

4 議会の活動状況を理解できましたか。

できた 16人(100.0%) できなかった

考察	全員が「理解できた」と回答した。議長からの議会の活動報告がわかりやすかったと評価できる。
----	--

5 『市議会議員と話そう』は満足しましたか。

満足 16人(100.0%) 不満足

考察	全員が「満足」と回答した。学校がテーマを決定し、生徒が事前に取り組んでいたため、円滑な話し合いとなったと思われる。
----	---

6 『市議会議員と話そう』に参加して議会・議員に対する関心は高まりましたか。

高まった 16人(100.0%) 高まらなかった

考察	全員が「高まった」と回答した。グループワークで議員とのコミュニケーションが図られた結果と思われる。
----	---

7 議員と話す時間の長さはどうでしたか。

長い 2人(12.5%) ちょうどいい 10人(62.5%) 短い 4人(25.0%)

考察	10人(62.5%)が「ちょうどいい」と回答した。概ね適当な時間だと思われるが、短く感じる生徒も4人(25.0%)いることから、有意義な時間を過ごせたと感じていただけたものと思われる。
----	--

8 意見交換会の進め方はどうでしたか。

- 満足 16人(100.0%) 不満足

考察	全員が「満足」と回答した。 今回のグループワークの進め方は、生徒に受け入れられたと思われる。
----	---

9 今後、このような機会があれば参加したいですか。

- 積極的に参加したい 4人(25.0%) 指示があれば参加する 12人(75.0%)
 参加しない

考察	12人(75.0%)が「指示があれば参加する」、4人(25.0%)が「積極的に参加したい」と回答した。 自らが積極的に参加していただける、より魅力的な運営の検討が必要である。
----	--

10 『市議会議員と話そう』を来年度以降も行う場合、下級生に参加を勧められますか。

- 積極的に勧めたい 9人(56.3%) 一応、勧める 7人(43.7%)
 勧めない

考察	「積極的に勧めたい」が9人(56.3%)、「参加を勧める」が7人(43.7%)と回答した。 参加したうえでの結果は、参加者の評価は高かったものと思われる。
----	--

11 あなたは、袋井市に住み続けたい(住みたい)と思いますか。

- 『市議会議員と話そう』に参加する前から住み続けたい(住みたい)と思っていた
6人(37.5%)
 『市議会議員と話そう』に参加して住み続けたい(住みたい)と思った 3人(18.7%)
 住み続けたい(住みたい)とは思わない 2人(12.5%)
 現時点ではわからない 5人(31.3%)

考察	9人(56.3%)が「住み続けたい(住みたい)」、5人(31.3%)が「現時点ではわからない」と回答した。 進学校という特色から妥当と思われる。
----	---

12 本年度に行われた選挙(4月:静岡県議会議員)は、どのような状況でしたか。

- まだ選挙権(満18歳以上)がなかった 16人(100.0%)
 選挙権はあったが、投票はしなかった
 投票した

考察	参加者が1・2年生のため、全員が「まだ選挙権がなかった」と回答した。 投票に結び付くように、今後も啓発が必要と思われる。
----	---

13 『市議会議員と話そう』に参加して、今後の選挙で投票に行こうと思いますか。

まだ選挙権がない方は、選挙権を得たら投票に行こうと思いますか。

『市議会議員と話そう』参加前から投票に行くつもりであった 12人(75.0%)

『市議会議員と話そう』に参加して投票に行こうと思った 3人(18.8%)

投票には行かないと思う

現時点ではわからない 1人(6.2%)

考察	1人を除き、「投票に行く」と回答した。 10代の投票率が非常に低いことを考えると参加者の意識は高い。このうち3人(18.8%)が「今回、『市議会議員と話そう』に参加して投票に行こうと思った。」を選択したことは、成果と言える。
----	---

14 投票率の低迷等を含め、選挙に関して思うことを自由に御記入ください。

- ・選挙に関して興味を深めていく活動を増やしていった方が良い。
- ・ネットでも投票できるような手軽にできるものにする。(何かもらえるといったキャンペーンなどがあると良い。)
- ・選挙に対する興味・関心が低い(若者)
- ・高校生や若者にも伝わる内容で話してほしい。
- ・SNSでも投票できるようになったらいいのではないかと思います。
- ・正直、関心をあまりもっていないため、若者にも分かりやすく、中、高校生のときから興味を持てるようなことを行ってほしいと思いました。
- ・周りも行こうとしていない人が多い。
- ・選挙について詳しく知らないため、知っていききたい。
- ・選挙権をもう少し早く持ちたい。
- ・選挙を身近に感じたい。
- ・もっと若者の選挙への関心を高めて投票率を上げる。(若者の意見が反映される。)
- ・たった数分で終わるし、自分の市町のことなので行くべきだと思った。
- ・デジタル化を進めるべき。
- ・政治の話は難しいので、身近なことの話だったら興味が沸くなと思った。
- ・選挙会場を工夫する。

15 『市議会議員と話そう』に参加して気づいたこと、思ったこと、今後の開催に向けて

参考にしてもらいたいこと、市議会議員に言いたいこと等、自由に御記入ください。

- ・話し合いできる時間を増やす。
- ・私たちの話し合いの感想を伝えてほしい。
- ・袋井市にも魅力があることが改めてわかりました。
- ・袋井市について調べたり、考えることができ、知識を深めることができました。
- ・他のグループの意見を聞いて、そのアイデアが良いなと思うことがあったので、来年も行い、たくさんの意見を知りたいなと思いました。
- ・袋井市の現状をしっかりと理解をしてくださり、思ったことや意見がとても言いやすかった。
- ・人を増やすためには、いろんなことが必要なこと。
- ・自分の考えとは違った意見を知れたので、生かしたいと思いました。
- ・無料(もしくは安い料金が)利用できる子育て施設を増やしてほしい。
- ・初めは女性目線で問題を考えていましたが、グループの意見を聞いて施設や整備にも目がいていて感心した。
- ・袋井市をより知ってみようと感じました。また、たくさんの意見が出た。今後、このような活動に積極的に参加していきたい。
- ・今の人達はインターネットを使うことが多いので、インターネットを使ったPRを多くしたり、何か特徴的なイベントを開くことが大事だと思いました。
- ・袋井市の人があまり袋井市に興味を持っていないので、袋井市民に袋井市の魅力をもっと知ってもらった方がいいと思う。
- ・自分の気持ちを伝えることができるとてもいい時間になった。

※ 総 括

『市議会議員と話そうは満足しましたか。』『市議会議員と話そうに参加して議会・議員に対する関心は高まりましたか。』の問いに全員が「できた」と回答し、参加者の『市議会議員と話そう』に対する評価の高さを感じるとともに、有意義であったと感じた。

市内3高校の生徒等を対象とした議会報告会（意見交換会）は、令和元年度から5年間に渡り開催し、一定の成果は得られたと思われる。次年度以降については、今後開催予定の広報広聴委員会で開催時期、方法等を検討する。